



建学の精神

神をわれらの主とあがめ、神の子イエス・キリストを我らの救い主とする信仰に立ち、広く神と人にと仕えるとともに、創立者アニー・L・ハウが最も信奉したフレーベルの教育理念を、幼児の保育に生かすことを頌栄保育学院の建学の精神としています。



頌栄保育学院 校章・マーク
フレーベルの第2恩物である球体・円柱・立方体と撫子を組み合わせ、創立20年（1909年〈明治42〉）ごろには既に使われていました。撫子はその字から、幼児を慈しむ思いを表わしているといわれています。

学校法人 頌栄保育学院

〒658-0065 兵庫県神戸市東灘区御影山手1-18-1

TEL : 078 - 842 - 2541 FAX : 078 - 851 - 2154



創立

開港地 神戸では、1874年（明治7）摂津第一公会（現・日本キリスト教団神戸教会）が創設。婦人信徒は、各教会の枠を超えた〈神戸婦人会〉〈婦人英学校〉〈神戸婦人禁酒会〉などを次々と発足させ、幼児教育の必要性から幼稚園設立をも目指しました。神戸教会執事であった小磯吉人夫妻は、私立神戸幼稚園（現・市立神戸幼稚園）を設立して、英夫人自らが保育にあたりました。神戸婦人会は、財界などの援助によらないキリスト教主義に基づく教育機関実現のために、会員が三銭ずつ出し合って生地と人形を買い求め、〈ミカド人形〉と呼ばれる人形をつくりました。先祖伝来の古鏡や古陶器などの寄付品とともにアメリカン・ボード宣教師のジョン・L・アトキンソンに托された人形は、アメリカで販売され73ドル（当時は1ドル＝1円）の収益を上げました。1887年（明治20）には幼稚園設立のために婦人後援会が組織され、有志からの136円の寄付金や積み立てによって、ついに1000円という大金をつくりました。

神戸婦人会の代表者たちは、神戸ステーションの女性宣教師M・パローズに面会し、キリスト教幼稚園のための指導者派遣を要請。J・D・デイヴィスはこの要請に応じて、愛妻の死去のために一時帰国をした際に、シカゴ郊外のオーク・パーク組合教会で、神戸における幼稚園教師の必要性を講演します。創立者A・L・ハウはこの講演を聞いて感動し、日本行きを決意しました。このように日本からの自主的要請がはじめるにあって、それに応えての宣教師派遣という例は、当時としては非常に稀有なことでした。

1887年（明治20）ハウが来日します。幼稚園開設を依頼されての来日ではありますが、幼稚園開設に先立ち保育者養成は急務であり、1889年（明治22）10月22日に〈頌栄保姆伝習所〉を開所しました。〈頌栄幼稚園〉が開園したのは、2週間後の11月4日です。

養成機関がまだなく、幼稚園で保育を手伝いながら保育方法を見習えば保姆になれる時代でしたが、頌栄保姆伝習所は当初より2年制の本格的な保育者養成機関として出発し、現存する日本最古の保育者養成機関として今日に至っています。

創立の背景と歴史

創立者 アニー・ライオン・ハウは、1852年アメリカ・マサチューセッツ州に生まれ、幼いころに一家でシカゴに移住し開拓農業に従事しました。1867年ロックフォード女子専門学校（現・ロックフォード・カレッジ）音楽科を卒業後、さらに音楽の研修に励みましたが、妹メアリーに影響され、シカゴ・フレーベル協会保母養成所（1874年設立）に学び保母資格を取得しました。貧困家庭の子女のために設けられた幼稚園で1878年からメアリーとともに勤務。日本に来るまでの9年間、保育に携わり園長職も担っています。

1887年（明治20）12月21日、横浜に上陸。その後、海路で神戸へ。神戸ステーション宣教師団と神戸キリスト教育年会（YMCA）が共同で開校した〈神戸英語学校〉で英語とピアノを教えます。また、個人的な英語指導や教会オルガニストとしての要請もありました。

当時の神戸には、既に三つの私立幼稚園がありましたが（神戸・兵庫・間人）、ハウはその教師たちのためにフレーベルの教育遊具（恩物）の指導や幼児の歌を紹介しています。ハウが展開したフレーベリズムは、形式と理論と方法の紹介に留まらず、フレーベルによって生まれたキリスト教の深い信仰と結びついたものでした。

頌栄幼稚園の開設に先立ち、1889年（明治22）10月22日頌栄保姆伝習所が開所。既に保姆となるべく予定されていた者への訓練を含めた教育が始められました。入学者中4名の者は学生として学びつつ、11月4日に開園した頌栄幼稚園で保育者として働きました。

第1回入学生に神戸英和女学校（現・神戸女学院）卒業の杉浦信（第1期生）と和久山きそ（第3期生）がいます。杉浦（旧姓・浜口）は牧師夫人で、依頼を受けて1888年（明治21）高知の伝道地より二人の子供を連れて神戸に来て、ハウの日本語教師兼通訳を務めました。和久山は杉浦の勧めに従い同志社女学校での要職を捨てて入学し、学生ながらオルガンの教師に抜擢され、幼稚園の保姆も務め、ハウの著作の翻訳も助けています。ハウは35歳で来神以来、約40年にわたって教育の業に尽くし、1927年（昭和2）引退。和久山は、それから7年間、頌栄幼稚園園長及び、頌栄保姆伝習所所長を務めました。

頌栄幼稚園は神戸で4番目の私立幼稚園として開園しましたが、外国人によって新しい保育をするというので人々の注目を集め、志願者が多く入りきれず、開園の年に敷地を広げて遊戯場を増築し、付添人の控室も改築しています。まだ日本語が不自由で日本の事情に通じていなかったハウに代わり、しばらくの間、長田しんが園長を務めました。

ハウの教育は厳格で、学生たちは幼児教育に関する講義内容をすべて筆記し、翌日には要約の提出を義務づけられたといえます。実技面では縫い取りや折り紙、歌とオルガンのレッスンにと、まだまだ日本語にも習熟していないハウにとっても学生にとっても大変なスタートでした。

ハウはまた、教育に欠かせないものとして著書、翻訳書の出版を精力的に行なっています。『幼稚園唱歌』ハウ選（1892年）、『保育学初歩』ハウ著（1893年）、『人之教育』フレーベル著・ハウ訳（1898年）など、日本の幼児教育・保育界への貢献は多大なものがありました。



創立者 Annie Lyon Howe (1852~1943年)
子供が転んでも、自分の力で立ち上がる力を育むのが保育の肝要だと教えました。

